

国防は最大の
福祉である
初代会長 高橋季義



國の支え

中井信夫元大阪府議会議長

関西防衛を支える会
(略称・関防会)

〒532-0011
大阪市淀川区西中島4-3-4
チサン第6新大阪310
TEL 06-4256-4868 FAX 06-4256-4869
発行人 高橋忠義
編集人 小野元裕
印刷所 (株)新聞印刷

第82号

(秋季号)
令和2年9月1日(火)
(皇紀2680年)
(大正紀元109年)
(昭和紀元95年)
(平成紀元32年)

強固な意志と防人たる自覚が国を護る



副会長就任ご挨拶

副会長 原田 光生

大前副会長の後任として「関西防衛を支える会」副会長を仰せつかりました原田です。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。私は山口県出身で昭和39年に大阪府警署を拝命し、平成17年10月茨木警察署長を最後に退職、「一般社団法人大阪府警備業協会」勤務等を経たのち、現在は「NPO法人大阪府防犯設備士協会」専務理事として防犯セキュリティ機器の普及を通じた犯罪抑止活動に携わっております。思い返しますと私が警察官になった年の10月に東京オリンピックが開催され、今、朝ドラで話題の古関裕而氏作曲の「入場進行曲」オリオンピックが演奏され、真先に会場に入場して来たのは、防衛大学校生が所持するギリシャ国名のプラカードでした。警察学校の柔道場に特設されたテレビでこの世紀のイベントを観ていた私は、その防衛大学校生の凛々しさに感動した思い出があります。あれから早55年、自衛隊を取り巻く内外の環境は著しく変化しました。

私が20代の青年警察官当時アメリカはベトナム戦争に本格的に介入、国内ではこれに反対する学生運動が活発化し、また全国の大学で大学紛争が激化するなか、暴力革命を企図する極左暴力集団が台頭してゲバ棒と炎瓶闘争に明け暮れる時代となり、これに飽き足らない一部過激派が武装闘争に走り、その象徴的事件ともいえる浅間山荘事件が発生した2カ月後の昭和47年4月に、私は巡査部長に昇進して機動隊勤務を命ぜられました。入隊とともに分隊長としてデモ規制訓練の他「ほろく前進、射撃、レンジャー訓練、ヘリコプターからのリベリング降下訓練」等、対銃器を想定した訓練を自衛隊の皆様にお世話になりながら受けた記憶が心に残っております。当時はデモ警備、西成暴動警備と出動が多かったのですが、一番悔しい思いをしたのは、デモの学生などから「税金泥棒」とのしかられたことです。しかし私達

機動隊員よりもっとのしられていたのが自衛隊員だったように思います。しかし、そのような社会情勢も時代とともに変化し、自衛隊による「阪神淡路大震災における救援活動」、「地下鉄サリン事件と現場救援活動」、「地震・台風・豪雨災害での救援活動」、さらに「東日本大震災での救援活動と福島第一原発事故対応」とその活動が拡大されてきました。軍事組織である自己完結型の自衛隊員の救援活動を、被害者は元より国民は祈るような気持ちでテレビの現場中継を見ていたのです。まさに困った時の「神様」仏様、自衛隊様でした。ここ最近「税金泥棒」という言葉は聞いたことがありません。文字通り自衛隊は国民の心の中に浸透し、その存在はなくてはならない組織として認知されました。ただ私達が勘違いしてはならないのは自衛隊の本務は国防にあります。それは

えるには国民の支持、支援が必要不可欠です。しかし今の日本の現状は、ミサイル防衛の最後の要となる「アイリス・アシヨア」の導入も停止され、沖縄辺野古の埋め立ても遅々として進まず、一番のつくりしたのは、日本学術会議が、「軍事目的のための科学研究を行わない」と決議していることです。戦後75年、誰が戦争を好きなのか、誰が戦争をしたかと思うものか。私は警察官出身ですが、国家も民家も日々戸締りはしておかなくてはならないのです。

最後にになりましたが、いかなる強大な組織も人が動かします。自衛官一人一人の強固な意志と防人たる自覚が国を護るのです。また私達国民も自衛官に感謝し心から支援することが自衛官の士気を高めるのです。「関西防衛を支える会」は国防の重要性を認識し、国民の防衛意識の高揚を図り自衛隊の活動を支援することにより、我が国の繁栄と国民の安全・平和に貢献することを目的として設立されております。私も日本国民の一人としてその設立目的を果たすべく一隅を照らす活動を図りたいと思っておりますので、会員皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

我が国の平和と独立を守り、直接侵略や間接侵略から我が国を防衛することにあります。戦後75年が経ち世界の政治・軍事情勢は変わりました。今は大きな経済成長を成し遂げ、軍事大国と目される中国が一番の脅威となり、また、核武装とミサイル開発に狂奔する北朝鮮と左傾化する韓国の動向など、東アジア情勢ひとつを見ても明治維新後の国際情勢に立ち返っている感があります。残念ながら憲法前文にあるような「平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して」というわけにはいきません。軍事というものは、泥棒に入られたから鍵を増やすという様なわけにはいきません。軍事技術は日進月歩し、今や宇宙を制する者が軍事を制する時代となるなど世界の軍事情勢は日々変わっており、これに対応して軍備を整え訓練して国防力とするには年月を要するのです。国防は国家の最重要課題であり、それを支

新役員紹介

- 特別顧問 本田 太郎氏 (衆議院議員)
- 事業部副部長 (兼事務局次長) 小山みどり氏
- 理事 内藤 強志氏

関防会 Go toトラベルキャンペーンで行く 恒例! 忘年カニバスツアー

甘エビ 500g お一人様ずつにお土産!!

日時: 令和2年12月20日(日)
会費: 9,000円※通常13,000円Go toトラベルキャンペーン助成金適用
申込: 12月10日(木)まで 先着順25人 (同封チラシをご覧ください)

至誠

高橋季義先生追悼文集



関西防衛を支える会

初代会長 故高橋季義氏追悼文集 (再版)

「至誠」

関防会の最大の特徴は、初代会長のこの国の安寧を想う熱い気持ちが連綿と引き継がれていることである。関防会の種々の活動の根幹がこの本には明確にされている。現会長の父であり、平成18年に逝去した初代会長がどんな人物だったのか、どんな想いで関防会を設立したのか、自衛隊、自衛隊OB、自衛隊協力団体、帝国海軍、株式会社きんでん等、初代会長と親交深き方々、そして親族が綴る人物像。

価格: 715円(税込み) B5判モノクロ140ページ
申込先: FAX06-4256-4869 電話06-4256-4868
e-mail: info01@kanboukai.jp

北海道研修(陸上自衛隊)は新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となりました。9月1日 事業部

第87回	関防会の歴史勉強会 中島サロンのご案内 担当 菊池哲也、高村明美	第88回
日時 令和2年10月10日(土曜日) 午後16時から	日時 令和2年12月5日(土曜日) 午後16時から	
講師 潮 匡人氏 (軍事ジャーナリスト、元航空自衛官)	講師 黒田 裕樹氏 (高校教師)	
演題 「ポスト安倍政権の今後の課題」	演題 「明智光秀」	
会費 5,000円、非会員6,000円、学生2,000円 (含む飲食代)	会費 6,000円、非会員7,000円、学生2,000円 (含む忘年会代)	
講話のみ: 会員1,000円、非会員2,000円、学生無料	講話のみ: 会員1,000円、非会員2,000円、学生無料	

会場 錦城閣 ☎06-6941-2185 地下鉄谷町線、京阪電車天満橋駅直上 キャッスルホテル3F (中国料理店)

※新型コロナウイルス感染防止のため、懇親会・忘年会を食事会(酒類の提供なし)に変更する場合があります。その際、会費は3,000円(非会員4,000円、学生2,000円)といたします。

台湾慰霊顕彰の旅

令和2年
1月18日〜21日

(2)

台湾国民の日本に対する温かさを肌で感じる

千葉科学大学客員教授 (元中部方面総監)

山下裕貴

1971年10月25日、第26回国連総会にて「アルバニア決議」が採決され、中華民国(台湾)は国連常任理事国の座を失い国際連合を脱退した。

当時、私は中学生だったが、今でもテレビのニュース映像を鮮明に記憶している。それは総会において、中華民国代表が退出しようとして出口に向かった時、日米の国連代表が後を追うように駆け寄る姿である。

中華民国への興味と親近感、私の父が上海の大学を卒業したこと、職業軍人として中国大陸で転戦し、戦後は同軍に協力したことなどからである。父が存命



左から2人目が筆者(南天山濟化宮、1月19日)

していた頃は、リアルな大陸での体験話を聞いていた。

関西防衛を支える会(関西防衛)の高橋忠義会長からお誘いがあり、本年1月18日から21日まで行われた「台湾慰霊顕彰の旅」に同行する貴重な機会を得られた。聞けば関防衛は、大東亜戦跡への慰霊の旅をサイパン、フィリピン、ミャンマー、ボルネオで行われたとのこと。戦後75年過ぎたなか、このような活動を行っている団体に敬服する次第である。

1月19日、新竹市の南天山濟化宮での慰霊。台湾の靖国神社といわれる南天山



台南市議会議場(1月21日)

濟化宮では、日本軍兵士として戦死された台湾出身兵士の慰霊顕彰が行われた。

この場所は、遺族の方々が高齢になり靖国神社に容易に参拝できないことから、靖国神社の神霊を台湾へ分祀する運動が展開され、1965年に靖国神社の御祭神の霊壘複製として実現した。ここには約3万柱が祀られている。現在、春節(旧正月)を中心に多くの遺族が参拝されており「わざわざ靖国神社に参拝しなくてもよい」と感謝されているという。改めて日本と台湾の深いつながりに気付

かされた。1月20日、高雄市鳳山區にある保安堂での慰霊。ここでは日本海軍第38号哨戒艇が祀られている。戦後、地元漁民の網に一体の頭蓋骨がかり、海府尊神として神棚に祀った。その後、別の漁師が海府尊神から艇長の高田大尉である。部下の魂を日本に連れて帰りたい。祠を建ててほしい」とのご祈託を受けたとして保安堂の建立につながった。毎年、哨戒艇が撃沈された11月23日に慶典が開かれ奉祀されているという。日本の軍艦を祀る廟という

特殊性から日本からの訪問者も多く、地元の方々の交流の場になっている。現在、高田大尉以下145柱の軍神が日台友好の絆、平和の象徴になっていることに対して方々の思いである。

日台が協力して危機に臨むことが必要

みるに、時代が違えばいえ戦死・殉職者に対する国民の畏敬の念について、深く考えさせられるものがある。慰霊顕彰の旅は、ほかに獅頭山勸化堂(フィリピン)に派遣された台湾巡査隊の指揮官である広枝警部を祀るへの参拝を行った。広枝隊長は司令部からの玉碎命令を受領すると部下の台湾警察官に「ここまでよく戦ってくれた。故国台湾には諸君の生還を心から待つ家族がいる。この際、敵に投降しても生き残れ、責任は自分がとる」と部隊解散命令を出して自決した。このおかげで多くの台湾巡査隊が帰国できた。戦後、彼らが台湾仏教の聖地である獅頭山に広枝隊長をお祀りし、現在は孫達引き継いでいる。台湾青年の命を救った日本の警察官はもとより、孫の代まで恩を感じている台湾の方々も頭が下がっているという。このほか、海軍軍官学校訪問、台南市議会表敬なども行われ、地元有志や議員の皆様方から熱い歓迎を受けた。

1月21日、台南市安南区にある鎮安堂飛虎將軍廟での慰霊。この御祭神は日本海軍戦闘機パイロットの杉浦少尉である。彼は台湾沖航空戦に出撃、米軍機との空中戦で被弾、地元集落への墜落を避けるため郊外まで操縦し、最終的には敵機の機銃で戦死した。死が迫る中、住民の命を守るうとした杉浦少尉を神と称えて地元有志が祠を建てた。平成11年に発生した航空自衛隊練習機の入間川墜落事故を思い出した。空自のパイロットは入間川沿いの住宅地や学校を避けるため最後まで縦し殉職した。事故発生当初の批判的な日本の報道を

今回の慰霊の旅において、私は先の大戦で日本国民のために散った幾多の英霊に感謝することは勿論であるが、平和の大切さと台湾国民の日本に対する温かさを肌で感じた次第である。隣国である親日国家の台湾と正反対の反日国家の韓国、単純に比較はできないが日本の統治下にあった両国の違いは果たして何であらうか。それは日本統治時代の良否を評価する国と、全てを否定する国の差であり、具体的には国の教育に差異が表れていると思

う。台湾南部地域の治水事業を指導してよいと公言して業で貢献した日本人水利技師の八田與一は、台湾の教科書に記載されるほどの恩人として有名である。他方、韓国では国を挙げて反日教育が行われ、その結果慰安婦や徴用工問題、そして不買運動にまで発展するのである。韓国は自分自身で道徳心の高い国、日本は一段低い国、だから我々は日本を指導してよいと公言して「易者身の上知らず」の強行は、国際社会に中国の覇権主義を知らしめることになった。台湾は香港の次は自国ではないかと、対岸の中国に非常なる危機感を抱いている。日本も他人事ではなく、尖閣沖では中国公船の領海侵犯が繰り返され、主権が侵害されている。最後に、この様な貴重な機会をいただいた関西防衛を支える会の高橋会長、ほか会員の皆様にも重ねて感謝申し上げます。(おわり)

鳳山紅毛港保安堂での祭文

習近平政権のなり振り構わない香港の一国一制度化の強行は、国際社会に中国の覇権主義を知らしめることになった。台湾は香港の次は自国ではないかと、対岸の中国に非常なる危機感を抱いている。日本も他人事ではなく、尖閣沖では中国公船の領海侵犯が繰り返され、主権が侵害されている。最後に、この様な貴重な機会をいただいた関西防衛を支える会の高橋会長、ほか会員の皆様にも重ねて感謝申し上げます。(おわり)



台湾の人びとによって奉納された第38号哨戒艇模型(高雄市、1月20日)

シー海峽で撃沈されたことを知り、その神と崇めた頭蓋骨は、帝国海軍第38号艇の艇長である高田又男大尉であり海府大元帥としてお祀りするようになりました。海府大元帥とその部下たちが魂だけでも日本へ帰れるようにと、平成3年に造船職人に依頼して「軍艦」の模型を作り、海府大元帥の哨戒艇「三八にっぽんかんかん」として奉納しました。以来、地元の人々は、帝国海軍大尉高田又男艇長以下145柱の英霊をお祀りし、慰霊祭を続けてきた。

この保安堂が日台友好の場所として多くの日本人が訪れ、先人の御霊に手を合わせてくれることを願い、将来にわたって台湾と日本が共に繁栄していくことを英霊に誓って祭文といたします。

令和2年1月20日
会長 高橋 忠義

帝国海軍第38号哨戒艇は、昭和19年11月25日未明、戦艦武蔵の生存将兵を乗せた「さんと丸」を護衛中に米海軍潜水艦「アトール」の魚雷攻撃を受け、「さんと丸」とともにバシー海峡に沈みました。祖国日本のために戦い、命を落としたここに眠る145柱の英霊に哀悼の誠を捧げます。

この保安堂は、最初から第38号哨戒艇を祀るものではないと疑い、半信半疑で沖繩県護国神社などで調査すると、第38号艇がバ



日本人技師八田與一が造成した烏山頭ダム(台南市、1月20日)

飛虎將軍廟での祭文

帝国海軍杉浦茂峰少尉 台南上空で米軍機との空中戦は、昭和19年10月12日午前、戦の末、撃墜されました。米軍機の機銃掃射により戦死されました。



飛虎將軍廟 (台南市、1月21日)



八田與一銅像・墓の前で手を合わす (台南市、1月20日)

命に替えて自分たちを守ろうとした杉浦少尉を神とたたえ、飛虎將軍の称号を与えて長きにわたり御霊をお祀りくださっている台湾の地元の人々に対して、敬意と感謝の意を表します。

平成11年、航空自衛隊のベテランパイロット2人がT-33Aによる訓練から帰投中に、エンジントラブルが発生、墜落の直前まで基地手前である人間川沿いの住宅地や学校を避けるために操縦を続けた結果、脱出が遅れ共に殉職しました。

その結果、民間人の死傷者が全く出ませんでした。飛虎將軍廟で手を合わすとき、この事故のことを思い出すにはいられません。最後まで自らの命を顧みず、住民を守ろうとした犠牲的精神は、軍人の鏡であり、自衛官の精神基盤に通じるものを感じます。

今日の平和は先人の尊い命の犠牲の上に成り立っていることを、英霊に感謝し、永く慰霊・顕彰していかなければなりません。台湾の平和と独立を守ってくださっている台湾の軍人、そして、日本の平和と独立を守ってくださっている自衛官に感謝と敬意を表し、祭文といたします。

令和2年1月21日
会長 高橋 忠義

歴史勉強会 中島サロン 錦城閣

第85回 6月13日



日米戦争を策略したのは誰だ！

ロックフェラー、ルーズベルト、近衛文麿、そしてフーバーは

昭和史研究家・戦史研究家 林千勝氏

日本の歴史家・マスコミのほとんどはロックフェラー、ロスチャイルドに代表される国際金融資本家を無視しています。ヨーロッパで大きな勢力を培い、アメリカに進出したロスチャイルド。その下で前衛部隊としてのし上がり、戦後の世界を牛耳っているロックフェラー。日本にも大きな影響を与えています。しかし、そのことはほとんど隠されています。ソ連(コミンテルン)の建国を助け、ヨーロッパの社会主義者達を助けてきたのがロスチャイルドです。革命後の大混乱、何千万人の国民の虐殺、物資と外貨不足、産業が破綻しているなかで、世界をコントロールするような経済力や戦略をスターリンは持っていませんでした。主要国に共産主義を浸透させ、またソ連を支援したのは、ロスチャイルドとロックフェラーです。

近衛文麿は藤原家の末裔で、筆頭当主でした。大東亜戦争の正体は、近衛文麿が戦争に日本を巻き込んで大日本帝国を潰し、アメリカと組んで日本で覇権を取ろうとしたことです。その通りうまく行きました。

今欧米では、国際金融資本から抜け出ようと考えている人たちが約半分かいます。彼らがトランプやジョンソンに投票しました。これとは反対に全くこのことに気付いていないのが日本人です。日本の場合これに中国共産党も絡んできます。ですから、今の日本は深刻な状況です。

戦争は最も儲かる商売です。この約200年間国際金融資本達は、戦争を起してお金儲けをして来ました。彼らの指針の第1はグローバリズ

ムです。関税をなくし、世界に市場を求めていきます。反ナショナリズムです。日本が満州の権益を得た時、日清日露戦争で助けてやった日本がなぜ満州を独占しているのかと彼らは怒りました。日本は現地の産業を発展させ、いい統治を行いました。例え、地球分割支配です。ソ連を育て、

米国の核ミサイルを向けさせたのです。そうすることで、軍事費が膨大になり、彼らの商売が潤うのです。

この組織に集った人達の中には、日本人もいました。松本重治、尾崎秀実、白洲次郎、牛場彦彦などです。彼らは日本を戦争に追い込み、日本を敗戦させることを目的に徒党を組んだのです。大東亜戦争は日本の軍人達が世界侵略しようとしたと調査会に集った人達は、共産主義者を煽り立て、戦争拡大に追い込んだのです。敗戦の責任は東条英機に押し付けました。彼らによってソ連共産党のような大政翼賛会が創られましたが、力を失って行きました。なぜなら、昭和天皇がその危険性にお気付きになり、平沼騏一郎に止めさせたので

罗斯チャイルドやロックフェラーは政治に入り込み、相続税、累進課税等を導入して税金を上げました。彼ら自身は導入前に財団を創り、無税になるようにしていました。ロックフェラー財団は世界征服の原資となっています。また、FRB(連邦準備政府、米国の中央銀行)を創ったのはロスチャイルドとロックフェラーです。無料でお金を刷って、政府にお金を貸し、利息を全て得ているのです。第1次世界大戦を起し、彼らは相当儲けました。そして、国際連盟を創設、ソ連を建国、コミンテルンを創設し、世界征服の道を進んでいきました。しかし、米国の国際連盟に加盟しなかつたため、彼らの思惑が外れました。米国民は国際連盟のような外国人の組織に牛耳られてはならないと感じていたので、ロスチャイルドとロックフェラーは、何とかして米国の善き込みもと、王立国際問題研究所と外交問題評議会を創設しました。彼らはソ連建国の後、大恐慌を起して、株が暴落した時に買い占めて儲けました。次に第2次世界大戦を起します。健全なナショナリズム

の国である日本は、彼らにとって敵でした。日英同盟を破棄させました。また第2次世界大戦後には、ソ連をより大きくさせ、米ソ2極構造を創り、中国は共産化させて、ソ連の影響下に置きました。冷戦後国際連合ができ、米国も加盟しました。冷戦は終わりましたが、真赤な嘘です。太平洋問題調査会に集った人達は、共産主義者を煽り立て、戦争拡大に追い込んだのです。敗戦の責任は東条英機に押し付けました。彼らによってソ連共産党のような大政翼賛会が創られましたが、力を失って行きました。なぜなら、昭和天皇がその危険性にお気付きになり、平沼騏一郎に止めさせたので

南へ進出して石油を確保し、インドに行けば勝てるという作戦を昭和天皇は信じて、開戦を許可しました。ところが、山本五十六による真珠湾攻撃が行われてしまいました。真珠湾攻撃で米国民も戦争に巻き込まれました。これがなければ、ヒトラーが米国の戦争をすることもなく、ソ連もこんなに大きくはならなかったでしょう。山本五十六にそうさせたのは、米内光正と永野修身です。永野はなぜ山本に真珠湾攻撃をさせたかについて、戦後「それを認めなかったら、山本が辞めるところ」だと答えています。こういうことを教科書に載せるべきです。

東光学園で自衛隊の仕事説明会



左から神杉文雄広報官、泉森英太郎さん、辻本勝之2等陸尉、大久保正彦施設長

児童養護施設、東光学園(堺市中区土塔町2028)で8月23日に自衛隊の仕事説明会が開かれた。初めに同施設出身で八尾駐屯地勤務の泉森英太郎さん(34)が体験談を話し、次に辻本勝之2等陸尉(49)が自衛隊の仕事について分かりやすく説明した。

歴史勉強会

中島サロン

第86回
8月8日

錦城閣

各部の戦争方針にむかいはないことにはならない。私が山本ならダメと言われたら、諦めるか戦を辞したであろう。大本営、特に陸軍は長期持久戦を考えて、まず石油を確保しようとする空軍部隊がインドネシアのパレンバン占領に成功した。せつかく油田を確保できたのに、この成果を台無しにしたのが山本だったと言える。もし、ハワイ作戦がなければ、アメリカは暫く手を出せなかったと思うし、日本への参戦に当時保護主義であったアメリカ国民の理解が得られたかどうか疑問である。もちろん、だからと言って日本が勝利したかどうかは分からないが...

明治初期、勝海舟、坂本龍馬らが中心となって海軍を創った。その当時の軍艦での食事は、乗員が各々米を持ち込んでいた。そのため脚気が流行り、3分の1の兵隊が亡くなった。それで、英国海軍に学ぼうという事になり、当時知られていなかったビタミンの多い芋などを食べることで脚気の患者が激減した。これが「海軍カレー」や肉じゃがの誕生である。

日本海軍で東郷平八郎が取った作戦は、司馬遼太郎の「坂の上の雲」にも登場する「T字戦法」である。昭和50年頃に日本海軍の実態、とりわけ多くの失敗も書かれた戦術解説などが宮内庁から出てきて防衛研究所に移管された。そこにはT字戦法は実施していないと書かれている。海軍前に旅順港から出てくるロシア艦隊に対してT字戦法を実施したところ、T字になるように艦首の向きを変えるとロシア艦隊は反転して逃げだし、結局追いつけずに失敗した。T字戦法は逃げる相手には通用しなかった。そこで秋山参謀が考えたのは、機雷4つを100メートルのロープに結び付け、それを小型の水雷艇でロシア艦隊前方に撒くという機雷作戦である。しかし、これも実施できなかった。敵艦見ゆとの警報に接し、連合艦隊は直ちに行動、これを撃滅せんとす」という司令官が大本営に宛てた電報に秋山参謀は「天気晴朗なれど波高し」と一文加えたのは「存じ」であろう。司令官の発する電報に参謀が文を加えることなどありえない。彼は、波が高くて水雷艇が運航できず機雷作戦が実施できないということ

軍人から見た超おもしろ歴史講座

関西防衛を支える会 会長 高橋 忠義氏



人にも知らされていなかったことが問題である。失敗を教訓として生かすことは成功に繋がり、大東亜戦争にもそれが生かされてきたのだ。

山本五十六は包容力があり、面倒見のいい立派な軍人で、特に指揮官として非常に優れた方であった。山本の起案したハワイ作戦は大本営では予定されていなかったが、山本はどの理由も、米国の戦意を喪失させ、短期で有利な条件をもって講和に持ち込むためであった。一方、大本営は防衛線を引いて長期にわたって来襲する敵を少しずつ討ち倒していくという長期持久作戦という考え方であった。この両者の戦争方針の違いは大きな問題であったと指摘したい。とりわけ連合艦隊司令官が上級司令

本ならダメと言われたら、諦めるか戦を辞したであろう。大本営、特に陸軍は長期持久戦を考えて、まず石油を確保しようとする空軍部隊がインドネシアのパレンバン占領に成功した。せつかく油田を確保できたのに、この成果を台無しにしたのが山本だったと言える。もし、ハワイ作戦がなければ、アメリカは暫く手を出せなかったと思うし、日本への参戦に当時保護主義であったアメリカ国民の理解が得られたかどうか疑問である。もちろん、だからと言って日本が勝利したかどうかは分からないが...

なぜ日本はアメリカに負けたのか。物量の差もあるが、最も大きな要因は米軍の士気が高かったからである。硫黄島の戦いで米軍は6,000人を超える将兵を失っている。多くの同僚の屍を越えて猛然と戦う米軍は本心に強かったのだ。そんな米軍も日本軍の戦いぶりに驚愕していた。その士気の高い精神は今の自衛隊員にも引き継がれていると信じて。東日本大震災後の生命が危険にさらされる「オペレーション・アクア」では命令を断る者は皆無であったことは今の自衛隊員の士気が高い証左である。

残念ながら自衛隊は軍隊ではない。それは軍法がないからである。軍法は軍人を擁護するともに、規律を維持するためにある。米軍で敵前逃亡すれば死刑だが、自衛隊では懲戒処分くらいであろう。秘密漏洩をしても懲役7年くらいで済むが、多くの国では死刑が終身刑である。他国の軍隊は、厳しい罰則により規律を維持している。軍法では命令による射撃で民間人が亡くなっても罪にはならないが、自衛隊の場合、業務上過失致死となってしまう。軍人の場合、一般の公務員とは違う次元で任務にあたるので、年金ではなく恩給(給与保証)を出すべきである。このように軍隊とは程遠い処遇ではあるが、自衛隊は非常に士気が高い。日本人として誇るべきことである。

新隊員に激励品を贈呈

新型コロナウイルス感染症防止のため、空自防衛南基地の新入隊員激励研修旅行は中止となり現地に赴くことができませんでした。しかし新隊員を激励したいとの思いから新隊員全員に激励品(ドリンク剤)をお送りいたしました。空自防衛南基地司令より「今春入隊しました第19期自衛官候補生課程および第15期一般空曹候補生課程の学生に対する心温まる激励を賜り厚くお礼申し上げます。隊員一同は、今後とも皆様方の信頼とご期待に応えられるよう最善の努力を尽くす所存でございます」(抜粋)とお礼状をいただきました。



元気いっぱい隊員(空白)



修了式目前!笑顔の隊員(海白)



激励品を受け取る女子隊員(空白)

事務局長 小山みどり



激励品に喜ぶ女子隊員(海白)

編集後記

今回、理事となりました、内藤強志と申します。

かなり前になりますが、大阪防衛協会の総会後に、当会会員たちや仲間と飲んでいただくところ、会員の伊藤允孝さんに誘われその場で入会いたしました。

入会后、総会へは殆ど出席しておりません。伊藤さん以外知り合いもいないので、懇親会では寂しく隅で飲んでおりました。69歳まで動もしていただきましたので行事にはあまり参加していませんでしたが、1泊2日富士火力演習研修に初参加しました。

訂正とお詫び

「國の支え」第81号の記事「台湾慰霊顕彰の旅」に重大な誤りがありましたので、ここに深くお詫びし訂正いたします。なお、他に送り仮名など軽微な誤りが多数ございましたが文意は変わりないことから、訂正しないことをご了承くださいます。

2ページ8段目後から4行目誤「顕現あらしめては、…」

正「顕現なさしめては、…」

3ページ上段前から4行目誤「余のために…」

正「世のために…」

陸・海・空 自衛官募集

自衛官候補生・一般曹候補生の採用年齢の上限が

33歳未満

まで引き上げられました

関西防衛を支える会

ご入会のお願い

関西防衛を支える会では会員募集中です。ご入会ご希望の方は事務所までご連絡下さい。入会申し込み用紙をお送りいたします。ホームページからの申し込みも可能です。

年会費(会計年度: 4/1~3/31)	
一般会員	3,000円
維持会員	10,000円
法人会員	20,000円
学生会員	1,000円

※一口以上何口でも受け付けます
電話: 06-4256-4868
メールアドレス: info01@kanboukai.jp
HPアドレス: http://kanboukai.jp/

学生会員大歓迎(高校生以上32歳まで)

関西防衛ではメールマガジンを開設しています。関西防衛の活動内容、行事参加のご案内、また自衛隊の諸行事のご案内等をメールで皆さまにお届けいたします。会員登録以外の方も登録いただけます。

事務局へメールでお送り下さい
ルのない方はご郵送でもどうぞ

メールアドレス登録のお願い

ホームページ フェイスブック